



大きくなって帰っておいで

町内5年生児童がサケの稚魚を放流

小学校5年生も3月ごろになると、6年生の卒業式などで、最上級生となる期待感と、ちょっぴりの不安感で胸がときめく季節です。そんな5年生児童に生物のいのちの尊さやサケの回帰性を知ってもらおうと、稚魚を放流しています。今年は3月14日(木)、新田町の中ノ口川岸で大野・木場・板井・山田・黒鳥小の児童が50万尾のサケの稚魚を放流しました。これは信濃川漁協の協力で毎年行われているもの。3年後から児童たちが中学を卒業する4年後には、成長したサケがのぼってくるそうで、児童たちは「大きくなって帰っておいで」と放流しました。

主な内容

- 2~7ページ
- 平成8年度予算
- 8ページ
- 早津剛展
- 9ページ
- 黒崎町の今昔
- 10・11ページ
- ニュース
- 12・13ページ
- 街かど
- 18・19ページ
- お知らせ
- 20ページ
- 人のコーナー

広報



4
'96 391号